

活動結果報告書

平成31年1月31日

越前市議会

議長 川崎悟司 殿

議員氏名 近藤光広 印



下記のとおり報告します。

日 程 平成31年1月28日（月曜日）～平成31年1月30日（水曜日）

活動先 東京都区内（参議員会館、経産省、南青山291他各アンテナショップ他）

活動目的 東京都区内各所に視察、調査、交流等にて出張活動

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

- ・1月28日（月）法務省入国管理局/菅野室長他2名往訪（参議員会館 会議室）

H. 31. 4. 1より入管法改正が施行されるにあたり、改正内容を教授していただいたうえで、越前市の受け入れ態勢強化の課題や、市全体のさまざまな多文化共生の課題等を説明そして質問を行う。

越前市は人口の5.2%の外国人が働いており、多国籍居住者も多いなかでの今後の市の窓口受け入れ態勢一元化の課題、進め方を話し合う。

今後の議員活動のなかにおいて、更に今件の課題への取り組みを強化していただける機会を得た。具体的には、各市町と県が一体となった取り組みの先駆的役割が担える越前市の仕組みづくりが急務であると感じた。

- ・1月29日（火）経済産業省大臣政務官 滝波宏文参議院議員（同政務官室）

さまざまな政策的課題を、各出席者から、さまざまに国への要望も交えながら懇談する。特に前日の法務省職員の方々との内容を踏まえながら、入管法改正、およびそれに伴う多文化共生の各課題増加、さらに中小企業の人材不足問題等々話し合う。その他、小職からは今回の出張視察活動の一つであるアンテナショップを例えば越前市独自で出店などして、新幹線開業にむけての越前市アピールに繋げいく施策等々、特に東京圏との経済的、観光的交流人口増加の施策を強調する。今後同議員等との連携強化を視野に入れ、政策強化に繋げたい。

- ・ 1月29日(火) ふくい南青山291/石橋マネージャー他3名往訪、坂井市アンテナショップ 戸越銀座往訪視察

県所管のふくい南青山291の現状を上記石橋マネージャーを中心にヒアリングしながら視察実施。他県のアンテナショップも売り上げ、利益の面では厳しい状況も多いなか、福井県のアンテナショップ2店ともイベント企画、出店開催等々で、現在良好に推移している旨。公設民営(2社)で運営しており。民間ノウハウも生かし、同店で越前市特販のイベントや出店で越前市とコラボしたりして、今後も越前市の企画、PRに協力の依頼もする。また、同店には越前市出身のスタッフも勤務していて心強い。

坂井市のアンテナショップのある戸越銀座商店街は品川区にあり、現地往訪し視察ヒアリング実施。坂井市出身の方も働いており、生鮮野菜や海産物を多く陳列。毎朝、坂井市から運ばれ陳列のため新鮮さも好評とのこと。

全商品買い取り直販の為、現在は10,000千円/年の赤字にはなっているが坂井市は品川区と平成27年に連携都市になっており、品川区民の坂井市への誘客を図っているため新幹線開業に伴うその経済効果は、今後も大きいと見込んでいる。新幹線開業に伴う東京圏、首都圏の越前市への誘客増にむけ、アンテナショップ等の効果も考慮に入れながら、次回議会の質問にもつなげていきたい。

- ・ 1月30日(水) 食の国福井館(銀座店)往訪、俣玄 政所利子氏往訪

食の国福井館(銀座店)は、昨日に続き県のアンテナショップで、ふくい南青山291と同じ公設民営の形態で運営しているため現況視察およびヒアリング実施。感想や今後の活用については上記に同じ。

政所先生との内容は、新幹線南越駅(仮称)のまちづくりについてヒアリング、及び意見交換。商業施設の将来性は厳しく、健康、医療等のテーマのまちづくりが有望とのお話を伺う。それについて、小職の考え方も出し、今後も意見交換させて頂く。

小職とは以前からの接触もあり、越前市内で講演もしていただき、県レベルでも講演されてこられ、また御両親が越前市出身でもあるため、越前市への今後の協力もお願いする。これからの、南越駅前や市全体のまちづくりのアドバイスも継続して、政策提言に生かしていきたい。

以上

活動結果報告書

平成31年1月14日

越前市議会

議長 川崎悟司 殿

議員氏名 近藤光広 印



下記のとおり報告します。

日 程 平成31年1月10日（木曜日）～平成31年1月11日（金曜日）

活動先 (公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所

活動目的 自主研修受講（防災と議員の役割）

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

・今回のテーマである「防災と議員の役割」に関して、以下に列举する「地方議員に、防災対策として期待すること」のまとめのなかで学んだことを、活かせるような活動、施策づくり、提言等々、まずは住民の立場からそして議員としての立場からそれぞれ出来ることを、このセミナー受講日以降、真摯に取り組んでいきたい。

- ・地方議員は、公人である前に住民であるということ。
- ・災害時の活動は、平時以下でも平時以上でもないということ。
- ・もっと学校防災の強化に目を向けるべき。権より始めよということ。
- ・地域防災計画、災害活動マニュアル、BCPを十分理解すること。
- ・平時も、災害初動期も住民の目線、女性の目線で活動すること。
- ・災害3日間は、住民として活動すること。
- ・議員としての活動には、会派連携の体制づくりをしておくということ。
- ・公平、平等、公正が災害対応の原則ということ。
- ・行政を支援し、住民を支援する。職員も住民も被災者ということ。
- ・復旧・復興期から、執行部（行政）に対する「チェック機能」をとということ。

⇒住民として議員として、平常時に防災、減災につながる課題を見つけ、解決の方向に持っていく努力をする。被災時にも住民の立場で出来ることをまず実行する。

以上

活動結果報告書

平成31年1月21日

越前市議会

議長 川崎悟司 殿

議員氏名 近藤光広 印



下記のとおり報告します。

日 程 平成31年1月17日（木曜日）～平成31年1月18日（金曜日）

活動先 (公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所

活動目的 自主研修受講（自治体財政の見方）

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

・地方自治体の財政運営と議員の役割と題して、地方財政の現状や健全化計画に盛り込むべき事項と予算、決算審議のポイントをまず学習し、その後イエローカード自治体の早期健全化自治体の議員になったつもりで予算決算審議に臨むケーススタディを各グループに分かれて、実際の市町の平成28年度財政状況資料集をもとにグループ討議し、判断し、結果をグループごとに発表。

総括表、普通会計の状況表各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率表および市町村財政比較分析表（普通会計決算）の見方を学習し、各自治体の財政健全化の指数を判断していく研修を受け基礎の基礎の学習が出来た。これを機に、更に学習を重ねていき、今後の越前市の財政評価、より高い健全化にむけての政策提言が出来るように活かしていきたい。

以上